

霧降高原

「キスゲ平」通信



Vol. 21 のトピック

2019 年(平成 31 年)
2 月 1 日 発行

- ・冬のキスゲ平を代表する鳥「ノスリ」
- ・カラ類の混群
- ・自然情報
- ・お知らせ
- ・今年もよろしくお願ひします

キスゲ平の冬の野鳥たち

冬のキスゲ平を代表する鳥「ノスリ」

秋から冬にかけてのキスゲ平を代表する鳥に「ノスリ」がいます。猛禽類(タカやワシ)の仲間であつたことはトビに似ているため、同じ鳥だと思つて見逃している人もたくさんいるはず。見分けるポイントはいくつかありますが、野鳥を見分ける第一歩として皆さんネットで調べてみてください。

「ノスリ トビ 違い」で検索するとたくさん出てきますよ。

ノスリは春から夏にはほとんど姿をみせない鳥ですが、秋を境に姿を見かける頻度が増えていきます。昆虫や小鳥、小さな哺乳類と色々食べるようですが、キスゲ平ではネズミを主食にしていると



ノスリ ネズミを探しています



コガラ スズメくらいの大きさのカラ類



ヤマガラ 撮影時はエナガ、ヒガラの混群の中にいました

思います。では、なぜ秋を境が増えていくのでしょうか？おそらく秋に行う園内の草刈りとの関係しているはず。草が刈られることで地面が露出し効率よくネズミが見つかるのだと思います。草刈りが終わると、どこからともなくやってきて、上空を飛んでいるのです。

カラ類の混群

冬になり雪が積もると一面が白銀の世界になり、樹木は落葉するため、夏の間には見つけにくかった小鳥たちの観察が容易になります。キスゲ平でこの時期一番多くみられる鳥は、

そんな小鳥のカラ類です。キスゲ平ではヒガラ、エナガ、コガラが多く、少数のヤマガラ、ゴジュウカラが混ざり一つの群れを成して木々の間を飛び交います。普通鳥たちは単一の種で群れを形成します。しかし、カラ類では別種同士が一つの群れで行動することがあります。この群れを「混群」と呼びます。

それではなぜ違う種類の鳥たちが一つの群れを作るのでしょうか。諸説ありますが理由は大きく2つあると考えられています。①多くの眼を持つことにより、いち早く敵を発見し先に逃げることができる。②小さな群れでいるより大きな群れでいたほうが警戒する負担

が減り、餌をとる時間が増えることで効率が高くなる。

このように、生存率を上げるために進化したカラ類の習性が「混群」なのです。



自然情報

足跡を探してみよう



冬のキスゲ平には、山の斜面に雪が積もり多くの足跡が残されます。
 一番目立つのは人間。多くの方がスノーシューやスキー、冬山登山に訪れます。
 次に目立つのは特徴的な足あとを残すウサギ、雪原の上を長く走った跡が良く見られます。
 その次は鹿の足跡。雪原を横切り道路へ向かいます。
 その他、木々の間などにタヌキやキツネ、テンなどの足跡も見られます。
 春から秋の間に良く見かけたクマやアナグマは冬眠中です。
 冬のキスゲ平で足跡探しをしてみませんか。

お知らせ

SnowShoes Rentals

We are going to start SnowShoes Rentals in this winter when we get enough snowfall. You can take a walk on the snowy field for fun!

a time limit: 3hours - use only in the kisugedaira

deposit: 2,000yen per person

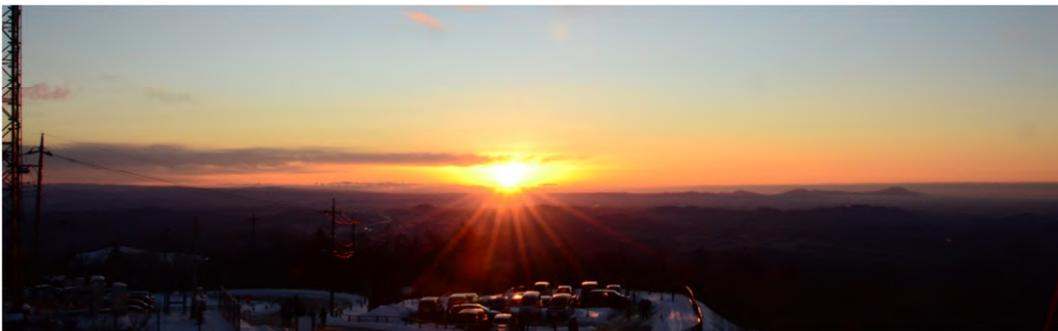
We will pay you back 2000yen when the snowshoes return.

スノーシューレンタル

今年もスノーシューのレンタルを行います。十分な積雪量になり次第、レンタルを開始します。スノーシューで雪原散歩をたのしみませんか。
【制限時間】 3時間（園内散策のみ）
【預り金】 お一人様二千円（大人・子供）
 お預かり金はスノーシュー返却時にお返しいたします。

今年もよろしくお願ひします

元旦に初日の出』をお楽しみいただきました。今年も朝六時から十時までレストハウスを開館しました。そしておよそ四百名のお客様に越したいただき、スタッフ一同感謝しております。今年の『初日の出』は多少雲に阻まれたものの、六時五十分頃には明るく力強い陽の光とともに温かな日差しのご来光を臨めました。
 今年一年、皆様にとって良き一年となりますよう、スタッフ一同お祈り申し上げます。イノシシ年の本年は猪突猛進、初日の出のように力強くホットに過ごしたいものです。どうぞ、今年もキスゲ平をよろしくお願ひいたします。



【発行】